

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 坪内 清	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	こころの医療センターによる児童思春期医療の実施		
目的	(1) 対象	児童思春期における専門的精神医療が必要な人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	児童思春期において医療を必要とする方に、専門の外來部門を設置するなど受診しやすい環境のもとで、適切な医療を提供する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		145.00	145.00	145.00	
式・定義	児童思春期外來新規受診者数	実績値	186.00	150.00	126.00	134.00		人
		達成率		103.40	86.90	92.50		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	
うち一般財源(千円)	0	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

こころの医療センターでは昭和44年の開院当初から児童・思春期の精神疾患治療に積極的に取り組んでおり、児童思春期外來や専用病棟の設置のほか、分校を併設するなどし、専門的な医療を提供している。外來については患者数が増加し、診療体制の維持が課題となっていたが、平成24年度から開始された県の「子どもの心の診療ネットワーク事業」により各圏域での相談体制が整いつつあることから、近年の当院の新規受診者は安定的に推移している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

従来、こころの医療センターに患者が集中し診療体制の維持が課題となっていたが、平成24年度から開始された県の「子どもの心の診療ネットワーク事業」により各圏域での相談体制が整いつつある。これにより、こころの医療センターは専門的な治療を必要とする患者を対象により適切な治療を提供できるようになってきていると考えている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
専門的医療提供体制の維持（専門知識を持った職員の確保）
- ②困っている状況が発生している「原因」  
心の問題を抱える児童・生徒等の増加
- ③原因を解消するための「課題」  
児童思春期の精神医療に精通した医師や、臨床心理士、看護師等の確保および養成  
各圏域ごとの相談体制の充実

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

専門医の資格取得支援や学会への積極的派遣等により、職員の資質向上に努め、より専門的で高度な医療の提供を目指す。子どもの心の診療ネットワーク拠点病院として各圏域の関係機関のネットワーク形成を支援し、適切な機関で適切な援助を受けられることを目指す。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）